



平成27年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年12月10日

上場会社名 株式会社オーエムツーネットワーク

上場取引所 東

コード番号 7614

URL <http://www.om2.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大越 勤

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 澄川 新一

TEL 03 (5405) 9541

四半期報告書提出予定日 平成26年12月12日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第3四半期の連結業績（平成26年2月1日～平成26年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第3四半期	26,394	4.3	1,056	29.9	1,151	26.3	630	34.4
26年1月期第3四半期	25,310	2.6	813	△15.9	911	△16.4	468	△11.0

(注) 包括利益 27年1月期第3四半期 656百万円 (39.8%) 26年1月期第3四半期 469百万円 (△10.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第3四半期	92.44	—
26年1月期第3四半期	68.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年1月期第3四半期	14,797	8,521	57.6	1,250.14
26年1月期	13,699	8,000	58.4	1,173.77

(参考) 自己資本 27年1月期第3四半期 8,521百万円 26年1月期 8,000百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	0.00	—	20.00	20.00
27年1月期	—	0.00	—		
27年1月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年1月期の連結業績予想（平成26年2月1日～平成27年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,600	2.5	1,400	17.0	1,500	13.6	800	31.8	117.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年1月期3Q	7,335,634株	26年1月期	7,335,634株
② 期末自己株式数	27年1月期3Q	519,453株	26年1月期	519,453株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年1月期3Q	6,816,181株	26年1月期3Q	6,816,181株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策により緩やかな回復基調にあったものの、消費税増税による景気減速や円安による輸入原材料のさらなる価格高騰の懸念、そして食品を含めた生活必需品の値上げも相次いだことから消費者の生活防衛意識が高まり、個人消費の回復が遅れております。また、ウクライナ情勢や中東の紛争激化等による海外経済に対する不安感から、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループ中核事業の属する食品小売業界におきましても、こうした景況を反映し、物価上昇による売上増の要因はあったものの、消費税率引き上げに伴う可処分所得の実質目減りにより、お客様の節約・低価格志向は依然として根強く、さらに企業間の競争は激化しており、また外食業を巻き込んだ食市場の争奪戦となっております。

このような中で当社グループは、主力事業である食肉等の小売業において、従業員教育や作業オペレーションの改善、イベント等に向けた提案型販売の強化を進めました。外食事業にあつてはステーキレストランチェーン事業の競争力向上のための施策を実施し、また加工事業における品質向上のための施策や新規顧客開拓取引等に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高263億94百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は10億56百万円（同29.9%増）、経常利益は11億51百万円（同26.3%増）、四半期純利益は6億30百万円（同34.1%増）となりました。

営業の概況をセグメント別に記述すると以下の通りであります。

「食肉等の小売業」

当第3四半期連結累計期間の開店は16店、閉店は14店であり、その結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は148店になりました。内訳は食肉小売店119店（前期末比4店増）、惣菜小売店29店（同2店減）であります。当セグメントを取り巻く環境は上記記載の通りで、その結果、売上高は156億44百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益は8億99百万円（同53.0%増）となりました。

「食肉等の製造・加工業」

主力のハム・ソーセージ部門において既存取引先での伸び悩みがあるものの、新規取引先開拓や他社品及び、デリカ部門等の取引増加により、売上高は51億56百万円（前年同期比3.3%増）となりました。営業利益は原料相場の高騰等の影響から42百万円（同68.7%減）となりました。

「外食業」

当第3四半期連結累計期間の開店は1店、閉店は3店であり、その結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は56店になりました。売上高につきましては、㈱焼肉の牛太はカットセンターの新規取引先の増加や国産牛肉の単価上昇等、㈱オーエムツーダイニングは販促活動やメニュー改廃等により、59億99百万円（前年同期比2.6%増）となりました。営業利益につきましては、原料相場の影響で原価率が上がっている中、㈱焼肉の牛太においては、カットセンターのホルモン販売増加、㈱オーエムツーダイニングでは売上高の増加に加え、経費もコントロールされたことで増益となり、外食業セグメントでの営業利益は3億67百万円（同8.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の主要勘定の金額及びその前連結会計年度末比は以下の通りであり、大きな変動はありません。

流動資産	101億31百万円（前期末比+13.7%）
固定資産	46億66百万円（同△2.5%）
総資産	147億97百万円（同+8.0%）
流動負債	49億99百万円（同+16.9%）
固定負債	12億77百万円（同△10.3%）
純資産	85億21百万円（同+6.5%）
負債・純資産合計	147億97百万円（同+8.0%）

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年1月期の通期業績予想につきましては、平成26年9月1日に公表いたしました通りであり、連結売上高356億円、連結営業利益14億円、連結経常利益15億円、連結当期純利益8億円を予定しております。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,371,705	6,152,476
受取手形及び売掛金	832,553	909,518
テナント未収入金	1,157,414	1,138,649
商品及び製品	545,926	628,649
仕掛品	12,540	11,177
原材料及び貯蔵品	481,053	849,581
繰延税金資産	71,605	122,913
未収入金	223,727	202,345
その他	241,762	136,593
貸倒引当金	△23,738	△20,029
流動資産合計	8,914,550	10,131,874
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,066,576	4,015,689
減価償却累計額	△2,471,017	△2,536,561
建物及び構築物（純額）	1,595,558	1,479,127
機械装置及び運搬具	1,757,949	1,831,839
減価償却累計額	△1,478,472	△1,527,875
機械装置及び運搬具（純額）	279,476	303,963
土地	718,296	718,296
その他	1,353,641	1,460,554
減価償却累計額	△990,796	△1,079,877
その他（純額）	362,845	380,677
減損損失累計額	△387,668	△353,222
有形固定資産合計	2,568,508	2,528,841
無形固定資産		
のれん	21,824	16,368
その他	141,618	132,529
無形固定資産合計	163,442	148,897
投資その他の資産		
投資有価証券	130,332	181,594
長期貸付金	90,956	75,281
繰延税金資産	234,016	202,368
敷金及び保証金	1,268,374	1,216,368
投資不動産	257,376	257,376
減価償却累計額	△20,676	△28,838
投資不動産（純額）	236,699	228,538
その他	113,816	105,939
貸倒引当金	△21,422	△21,788
投資その他の資産合計	2,052,774	1,988,303
固定資産合計	4,784,725	4,666,043
資産合計	13,699,276	14,797,917

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,190,618	2,559,439
短期借入金	560,000	550,000
1年内返済予定の長期借入金	336,538	314,666
未払金	452,310	461,132
未払法人税等	155,670	278,249
賞与引当金	92,180	204,635
その他	487,773	631,309
流動負債合計	4,275,091	4,999,431
固定負債		
長期借入金	796,900	705,463
長期末払金	973	695
退職給付引当金	180,402	129,168
役員退職慰労引当金	63,326	65,317
資産除去債務	173,028	173,466
厚生年金基金解散等損失引当金	127,777	127,777
その他	81,116	75,398
固定負債合計	1,423,525	1,277,285
負債合計	5,698,616	6,276,717
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,700	466,700
資本剰余金	1,064,000	1,064,000
利益剰余金	6,928,434	7,422,182
自己株式	△476,078	△476,078
株主資本合計	7,983,055	8,476,803
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,604	44,396
その他の包括利益累計額合計	17,604	44,396
純資産合計	8,000,659	8,521,199
負債純資産合計	13,699,276	14,797,917

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)
売上高	25,310,056	26,394,629
売上原価	16,144,481	16,960,180
売上総利益	9,165,574	9,434,448
販売費及び一般管理費	8,351,751	8,377,547
営業利益	813,823	1,056,901
営業外収益		
受取利息	6,669	6,003
受取配当金	1,199	1,679
持分法による投資利益	—	12,677
家賃収入	95,795	40,681
協賛金収入	25,322	26,286
受取手数料	17,701	12,030
その他	31,464	15,396
営業外収益合計	178,153	114,756
営業外費用		
支払利息	12,287	10,104
持分法による投資損失	18,419	—
不動産賃貸原価	48,456	9,473
その他	1,090	709
営業外費用合計	80,253	20,288
経常利益	911,723	1,151,369
特別利益		
有形固定資産売却益	9,737	97
投資有価証券売却益	—	3,721
受取補償金	5,139	23,500
受取保険金	—	9,684
特別利益合計	14,877	37,004
特別損失		
有形固定資産除却損	2,576	20,541
有形固定資産売却損	904	6,601
減損損失	8,124	6,355
店舗閉鎖損失	27,574	10,599
たな卸資産廃棄損	19,025	—
支払補償金	—	38,500
その他	4,909	1,055
特別損失合計	63,113	83,653
税金等調整前四半期純利益	863,487	1,104,720
法人税、住民税及び事業税	371,942	508,988
法人税等調整額	22,833	△34,340
法人税等合計	394,776	474,648
少数株主損益調整前四半期純利益	468,711	630,071
四半期純利益	468,711	630,071

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	468,711	630,071
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,199	26,792
その他の包括利益合計	1,199	26,792
四半期包括利益	469,910	656,863
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	469,910	656,863

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	食肉等の製 造・加工業	外食業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,871,138	4,621,334	5,817,583	25,310,056	-	25,310,056
セグメント間の内部売上高 又は振替高	30,360	370,275	27,547	428,182	△428,182	-
計	14,901,498	4,991,610	5,845,130	25,738,239	△428,182	25,310,056
セグメント利益	587,707	134,508	338,952	1,061,167	△247,344	813,823

(注) 1. セグメント利益の調整額△247,344千円は、セグメント間取引消去△24,102千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△223,241千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」セグメントにおいて、店舗設備等の一部の資産は、当該事業に係る損益及びキャッシュ・フローが継続してマイナスとなる状況であるため、当第3四半期連結累計期間において、収益性が著しく低下しているものと判断し、帳簿価額を回収可能価額等まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に8,124千円計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成26年2月1日 至平成26年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	食肉等の製 造・加工業	外食業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,602,619	4,823,757	5,968,253	26,394,629	-	26,394,629
セグメント間の内部売上高 又は振替高	41,400	332,274	30,991	404,665	△404,665	-
計	15,644,019	5,156,031	5,999,244	26,799,295	△404,665	26,394,629
セグメント利益	899,173	42,159	367,048	1,308,380	△251,479	1,056,901

(注) 1. セグメント利益の調整額△251,479千円は、セグメント間取引消去△34,972千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△216,506千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」セグメントにおいて、店舗設備等の一部の資産は、当該事業に係る損益及びキャッシュ・フローが継続してマイナスとなる状況であるため、当第3四半期連結累計期間において、収益性が著しく低下しているものと判断し、帳簿価額を回収可能価額等まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に6,355千円計上しております。